

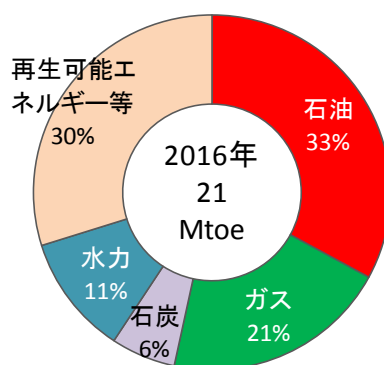
1-17 ニュージーランド

1. サマリー

1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2016年) : 21 百万 toe (日本の 0.05 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量(2016年) : 4.40toe (日本の 1.31 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2016年) : 78%
- (4) エネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 31.2 百万 CO₂ 換算 ton (日本の 2.7%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO₂ 排出量 (2015年) : 6.70 CO₂ 換算 ton (日本の 74.4%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2016年末) : 石炭 500 年超

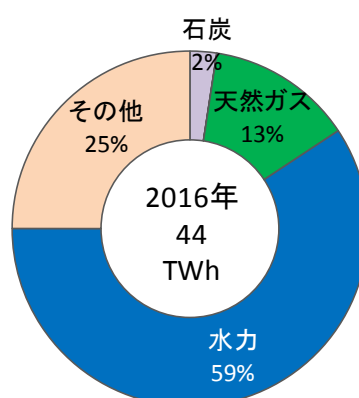
一次エネルギー源供給構成 (2016年)



Country: New Zealand

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

発電量構成 (2016年)



Country: New Zealand

(出所) World Energy Balances 2017, IEA

2. エネルギー政策のポイント

(1) エネルギー政策担当機関

- ニュージーランドのエネルギー政策は、2012年7月から経済開発省、科学イノベーション省、労働省、建設・住宅省の4つの省庁が統合され発足したビジネス・イノベーション・雇用省（Ministry of Business, Innovation and Employment: MBIE）が策定する。複数存在する担当大臣の内、経済担当は David Parker、エネルギー資源担当は Megan Woods（2017年12月）。

(2) 基本政策

- 2011年8月、エネルギー戦略（New Zealand Energy Strategy 2011-2021: NZES）を発表した。この中では、①資源の多様化、②環境への責任、③エネルギーの効率利用、④安価なエネルギー資源の確保、の4項目が優先目標として掲げられている。また、2050年までに温室効果ガスに対1990年比で50%削減することや、再生可能エネルギーの比率を2025年までに90%とすることなどが謳われている。

(3) 最近の動向

- 2013年9月、ニュージーランド北部のNgatamarikiに、発電容量100MWで世界最大の地熱発電プラントが完成。イスラエル系のOrmat Technologies社が2011年6月にMighty River Power社と契約を締結して建設したもので、193℃の高温地熱流体から取り出した蒸気により発電を行うバイナリー方式を採用している。
- 2015年8月、国営電力Genesis Energyが同国最後の石炭火力発電所を2018年12月末までに閉鎖すると発表した。
- 2017年10月、労働党のJacinda Ardern党首が第40代首相に就任。Ardern首相は、2035年までに再生可能エネルギーによる発電のシェアを100%にすると発表した。今回の政権交代により、前与党の国民党は野党となった。しかし、依然として多くの議席を占め、法案議決などでも大きな議決権を有する。新政権は困難な政権運営を強いられる可能性が指摘されている。

3. 日本とエネルギー分野における関係

- ニュージーランドは日本やオランダとの間で、国際エネルギー機関の定める備蓄基準を達成する一助として、緊急時に契約相手国から原油を購入できる契約を締結している。
- 2014年7月、安倍首相とニュージーランドのJohn Key首相との首脳会談では、両国が天然資源開発や地熱発電など、相互補完的な強みを有する分野における、より強固な企業間の連携を促進することで一致。

2. 主要エネルギー指標

COUNTRY: New Zealand

(2016年)

(1) 一次エネルギー供給量		21 Mtoe
(2) 一人当たりの一次エネルギー供給		4.40 toe/人
(3) GDP当たりの一次エネルギー供給		0.12 toe/千ドル
(4) エネルギー自給率		78 %
(5) エネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		31.2 百万CO ₂ 換算ton
(6) 一人当たりエネルギー起源CO ₂ 排出量 (2015年)		6.70 CO ₂ 換算ton/人
(7) エネルギー源別構成率	石炭	6 %
	石油	33 %
	天然ガス	21 %
	原子力	0 %
	水力	11 %
	再生可能エネルギー等	30 %
(8) エネルギーの輸入依存度		22 %
(9) 石油の輸入依存度		73 %
(10) 輸入原油の中東依存度		71.8 %
(11) 原油の輸入先	第1位	UAE
	第2位	サウジアラビア
	第3位	カタール

(出所) (1)～(4)および(7)～(9) : World Energy Balances 2017, IEA

(5)～(6) : CO₂ Emissions from Fuel Combustion 2017, IEA

(10)～(11) : Oil Information 2017, IEA